

噴火災害時の 被災地支援を模索する



日本列島では火山活動が活発になり、噴火に伴って各地で被害も出ている。国内の火山活動の動向について情報を共有し、噴火による被災体験地と現在被害が拡大している地域から被災の実像を報告してもらい、過去の噴火災害で実施された施策をもとに今後の被災地支援策や火山との共生について考える。

主催 日本災害復興学会・関西学院大学 災害復興制度研究所

共催 専修大学 社会科学研究所・火山地域の市民団体相互支援ネットワーク
(略称:火山市民ネット)

10月3日(土) 13:30~16:30

会場: 専修大学 神田キャンパス5号館(551教室)

【プログラム】

事前申込不要
入場無料

□開会挨拶 大矢根 淳(専修大学人間科学部教授/
日本災害復興学会関東ブロック学術推進委員会委員長)

基調講演

第1部

「最近の火山活動の動向について」
荒牧 重雄(東京大学名誉教授)

シンポジウム

第2部

○コーディネーター
所澤 新一郎(共同通信東京編集部長/
日本災害復興学会理事)

○パネリスト

三浦 和則 (洞爺観光ホテル社長)

* 1977年・2000年有珠山噴火体験(観光被害)

宮下 加奈 (ネットワーク三宅島代表/日本災害復興学会理事)

* 2000年三宅島噴火体験(島外避難)

山口 正行 (鹿児島県口永良部島 消防団分団長)

* 2015年5月噴火(島外避難)

田村 洋一 (神奈川県箱根町 箱根強羅観光協会専務理事)

* 2015年6月噴火(観光への影響)

木村 拓郎 (減災・復興支援機構理事長/日本災害復興学会副会長)

* 被災地支援全般

□閉会挨拶 渥美 公秀(大阪大学大学院人間科学研究科教授/
日本災害復興学会副会長・復興支援委員会委員長)

●総合司会 野呂 雅之(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・教授/
日本災害復興学会理事・総務委員長)

お問い合わせ 関西学院大学 災害復興制度研究所

TEL 0798-54-6996 <http://www.fukkou.net/>

会場案内

専修大学神田キャンパス：東京都千代田区神田神保町 3-8 5号館 5階 551教室

- 水道橋駅（JR）西口より徒歩 7分
- 九段下駅（地下鉄／東西線、都営新宿線、半蔵門線）出口 5より徒歩 3分
- 神保町駅（地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線）出口 A2より徒歩 3分

